

令和3年度岐阜市市民活動支援事業講評

○新規事業

No	団体名	事業名	講評
2	ふるさと黒野の言葉調査隊	ふるさと黒野の言葉（方言）調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ・狭い地域の中でも話す言葉は結構違いますよね。中学や高校で一緒になると、出身が分かるくらいです（山形県だと高校で一緒になると分かりました。父は鶴岡の城下町いたので、上方系の言葉を話していました。言語地理学で川を挟んで武士と町人で言葉がちがったケースです）。こんどはお年寄りの皆さん話を録音してみるといかがでしょうか。 ・新メニューのシビックプライド支援事業に今年から取り組み、少ないメンバーでの事業実施は、さぞかし大変な作業だったと思います。「ふるさと黒野の言葉350選」をととても楽しく拝見しました。今後は、この言葉調べと合わせて、昔の子どもたちの遊びや道具を調べ、地域の貴重な資料としてまとめていかれる計画があると伺いました。黒野の宝物になることでしょう。 ・懐かしい言葉がぎょうさんありますね。ほとんどの言葉の意味が解るので私も岐阜県人だと再認識しました。「ふるさと黒野の言葉350選」を我が公民館にも置かせてください。 ・今後、ぜひ子ども達に伝えていただければと思います。 ・黒野の言葉や岐阜弁に限らず、世代を重ねる事に、ふるさとの言葉を使うことが減ってきています。しかし、改めて言葉集を見させていただくと、今も違和感なく使っている言葉も多くあることがわかりました。このような調査を通じて、世代をこえた交流が図られ、地域の文化の一つである「言葉」が次代へ継がれていくことでしょう。